

## 厚年基金の平成24年度(H25.3末) 決算の積立状況等

対象先	DB年金	厚年基金	DC	退職金	その他
内容	法令通知	財政運営	資産運用	会計基準	その他

### ポイント

ご参考に厚年基金以外のお客様にも送付させていただきます。

厚年基金の平成24年度決算<sup>1</sup>の結果<sup>2</sup>を集計しましたので概要をご案内致します。

#### 1. 継続基準の積立水準：

総合型平均1.06(前年度1.01)、単独・連合型平均1.16(前年度1.10)  
総合型は20%(前年度42%)、単独・連合型は22%(前年度18%)  
が掛金の引上げが必要となりました。

#### 2. 非継続基準の積立水準：

総合型平均0.82(前年度0.75)、単独・連合型平均0.98(前年度0.94)  
総合型は86%(前年度92%)、単独・連合型は56%(前年度64%)  
が非継続基準に抵触しました。

- 1 弊社総幹事の118基金(総合106基金、単独・連合12基金)のうち、将来停止先および債務未確定先を除いた110基金(総合101基金、単独・連合9基金)について集計。  
2 平成24年度厚年本体利回りを9.6%(弊社推計値)として算出した結果。

- ✓ 全厚年基金の分布とは傾向が異なり得る点についてご注意ください。
- ✓ ご案内中の決算報告書から資産評価方法や許容繰越不足金等を変更することにより、代議員会で議決される決算結果が変更されることがあります。そのため、当ニュースが最終的な集計結果と大きく乖離する可能性がありますのでご注意ください。

### 今回ご案内のデータ(次頁以降)

【集計】積立状況の分布表	…2 / 9頁
1. 継続基準の積立水準分布 (数理上資産額 + 許容繰越不足金) ÷ 責任準備金 等	…3 / 9頁
2. 非継続基準の積立水準分布 純資産額 ÷ Max(最低積立基準額 × 0.92、最低責任準備金 × 1.05) 等	…4 / 9頁
3. 成熟度に関する指標 受給者 / 加入者 給付額 / 掛金額	…6 / 9頁
4. その他の指標	…7 / 9頁

全体		件数 (割合)		
継続基準 非継続基準	充足	抵触		合計
		掛金の見直し不要	掛金の見直し要	
充足	14 (12.7%)	4 (3.6%)	0 (0.0%)	18 (16.4%)
抵触	16 (14.5%)	54 (49.1%)	22 (20.0%)	92 (83.6%)
合計	30 (27.3%)	58 (52.7%)	22 (20.0%)	110 (100.0%)

総合設立		件数 (割合)		
継続基準 非継続基準	充足	抵触		合計
		掛金の見直し不要	掛金の見直し要	
充足	11 (10.9%)	3 (3.0%)	0 (0.0%)	14 (13.9%)
抵触	14 (13.9%)	53 (52.5%)	20 (19.8%)	87 (86.1%)
合計	25 (24.8%)	56 (55.4%)	20 (19.8%)	101 (100.0%)

単独・連合設立		件数 (割合)		
継続基準 非継続基準	充足	抵触		合計
		掛金の見直し不要	掛金の見直し要	
充足	3 (33.3%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	4 (44.4%)
抵触	2 (22.2%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	5 (55.6%)
合計	5 (55.6%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	9 (100.0%)

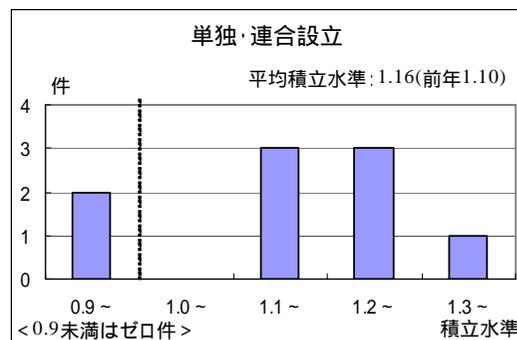
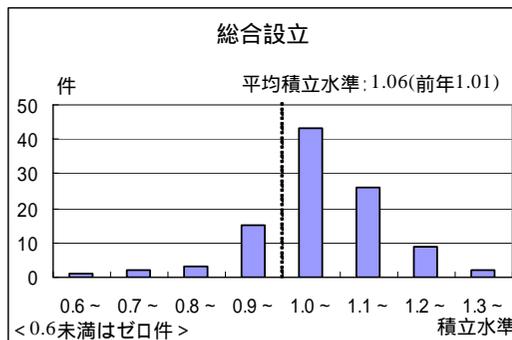
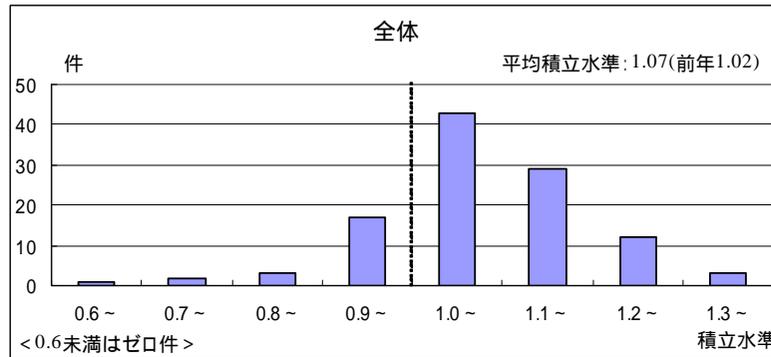
# 1. 継続基準の積立水準分布

110基金(総合型101基金、単独・連合型9基金)の集計

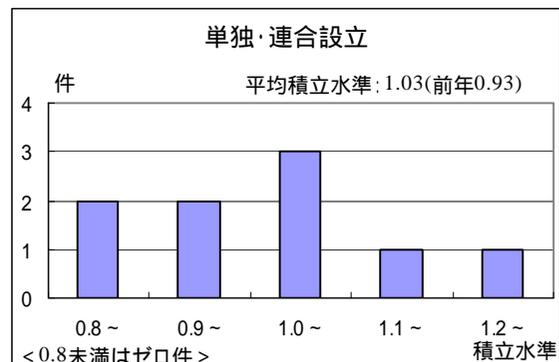
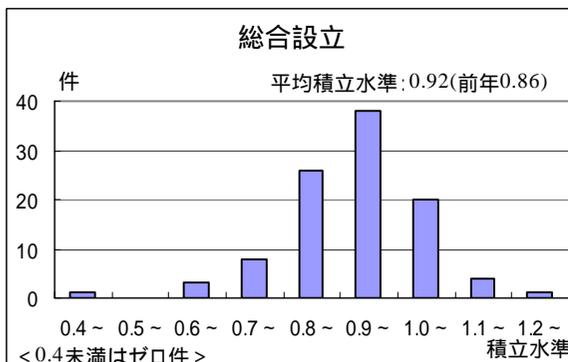
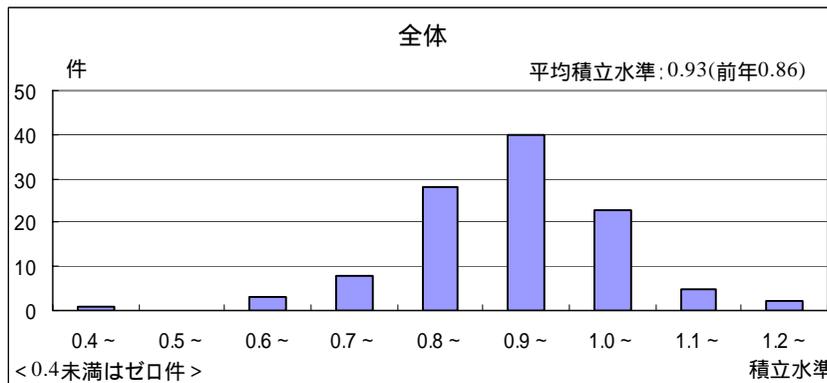
継続基準の積立水準 = (数理上資産額 + 許容繰越不足金) ÷ 責任準備金

1.0未満の場合は責任準備金確保のための変更計算の実施が必要

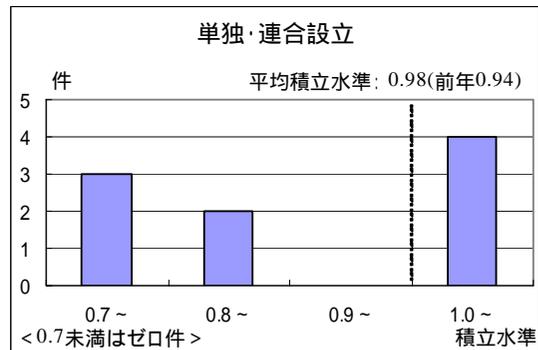
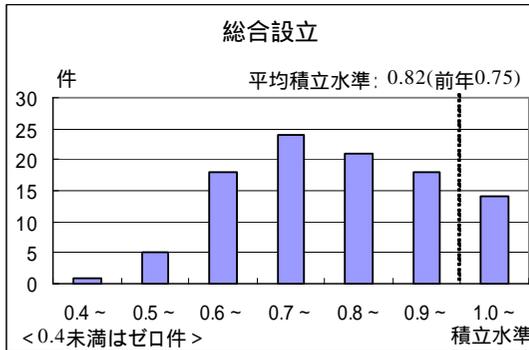
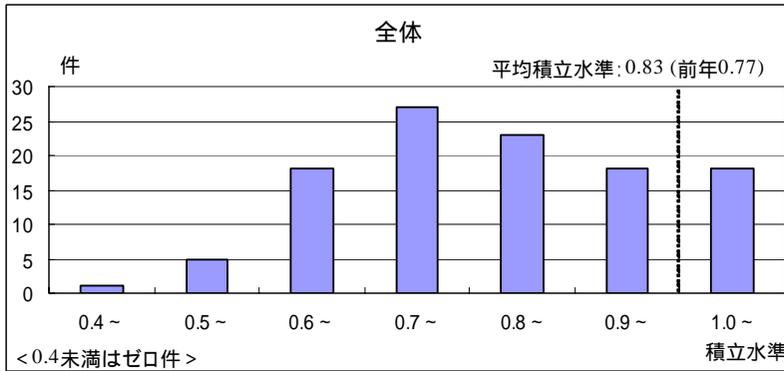
ただし、純資産が責任準備金より大きい場合は不要



## 【ご参考】純資産/責任準備金

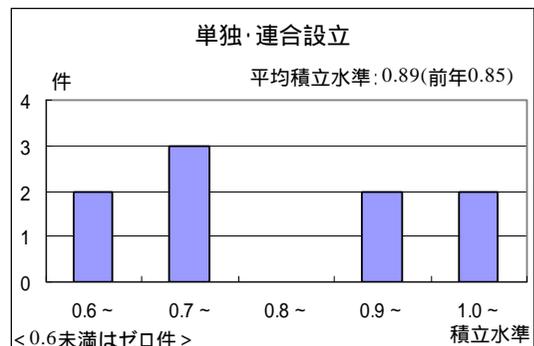
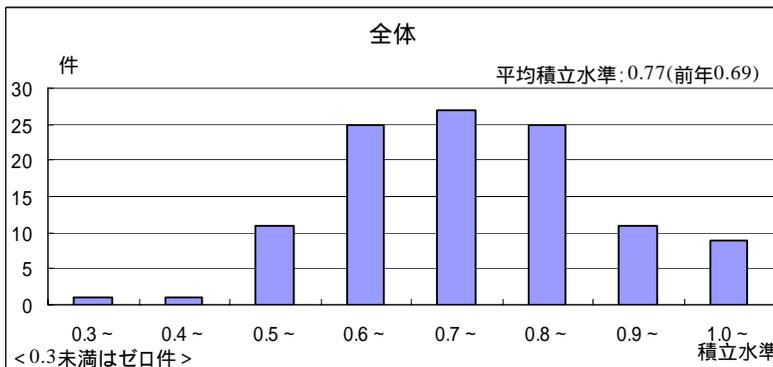


非継続基準の積立水準 = 純資産額 ÷ Max(最低積立基準額 × 0.92、最低責任準備金 × 1.05)  
 当該積立水準が1.0未満の場合が非継続基準に抵触

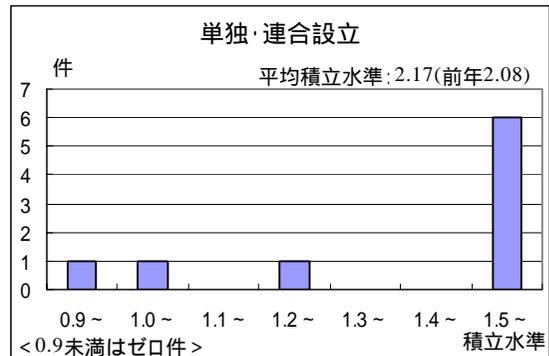
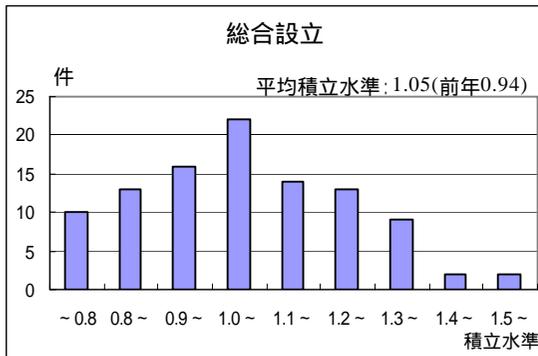
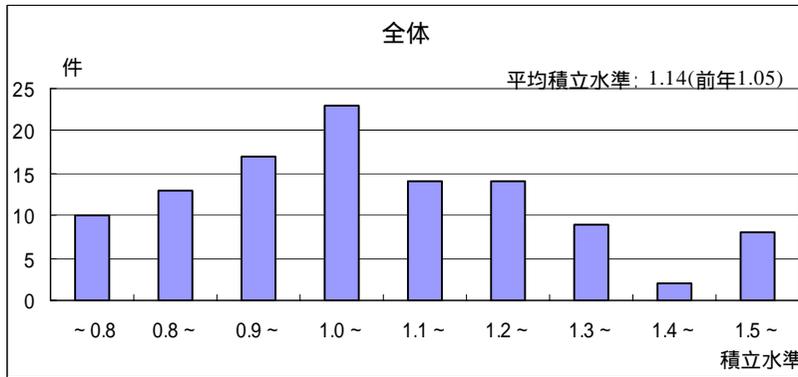


詳細は5頁「ご参考」をご参照

### ご参考 純資産 / 最低積立基準額

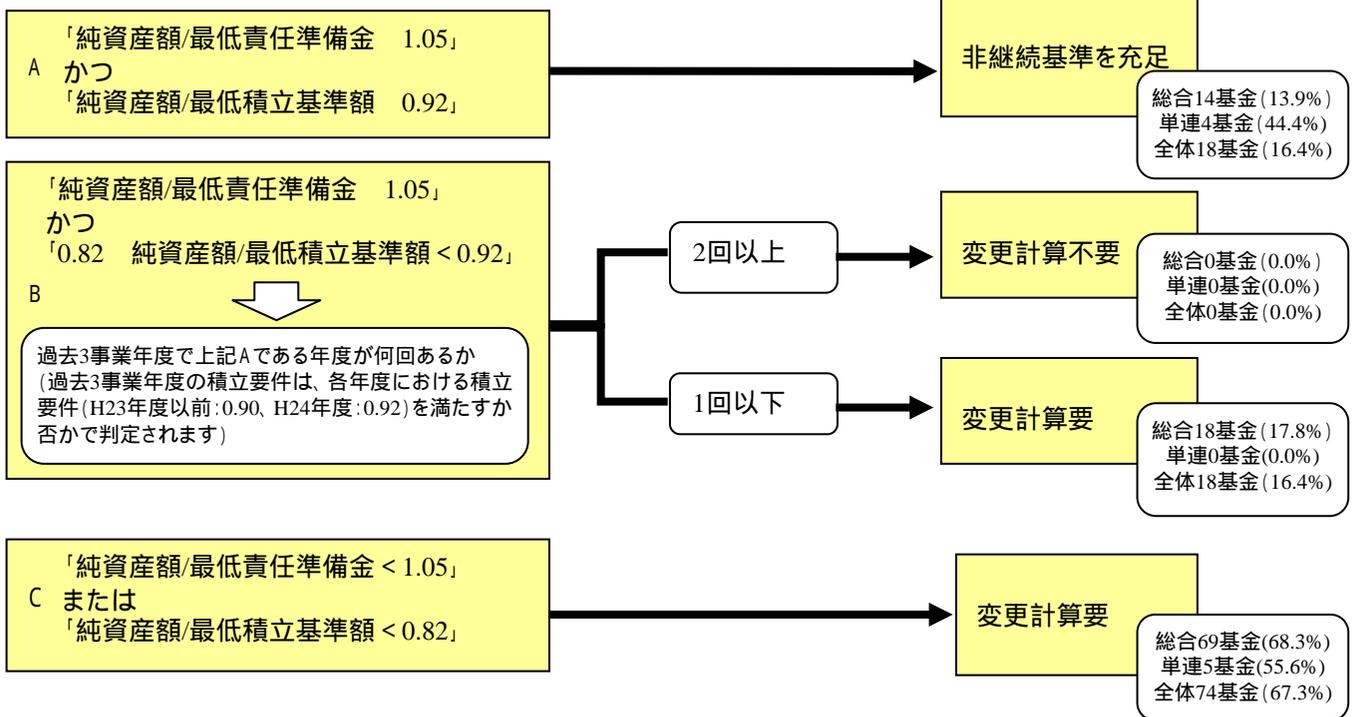


**ご参考 純資産 / 最低責任準備金**



**ご参考 非継続基準の判定**

(財政運営基準第四1(3)カ(ア))



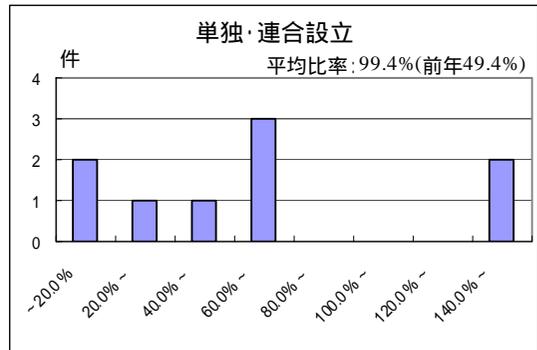
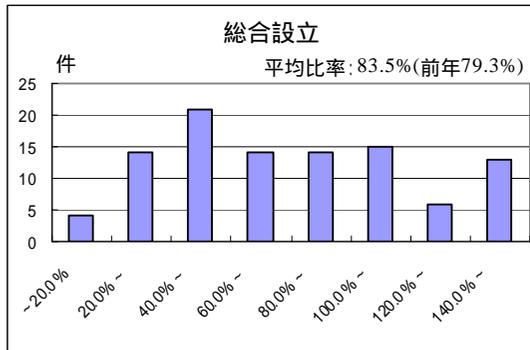
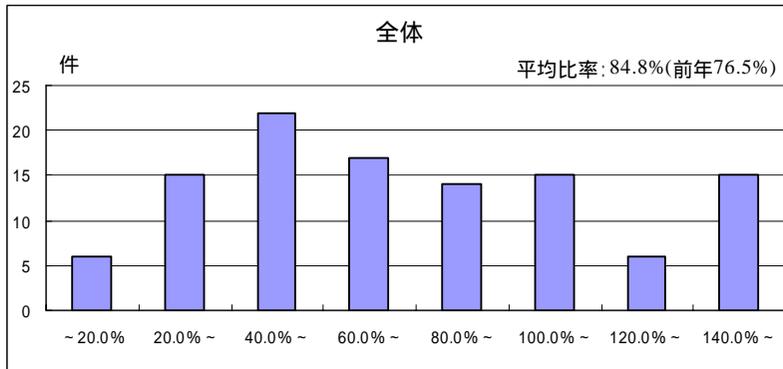
既に回復計画を実施しており、現行回復計画で積立水準が回復する場合は変更計算不要です。

### 3. 成熟度に関する指標

110基金(総合型101基金、単独・連合型9基金)の集計

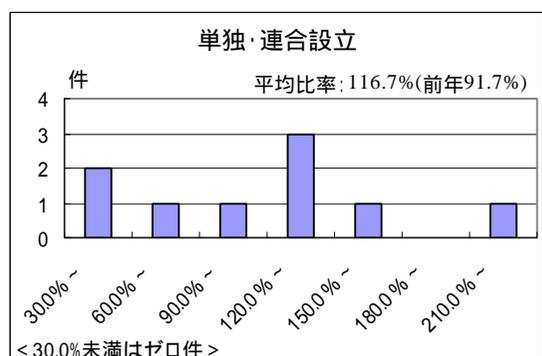
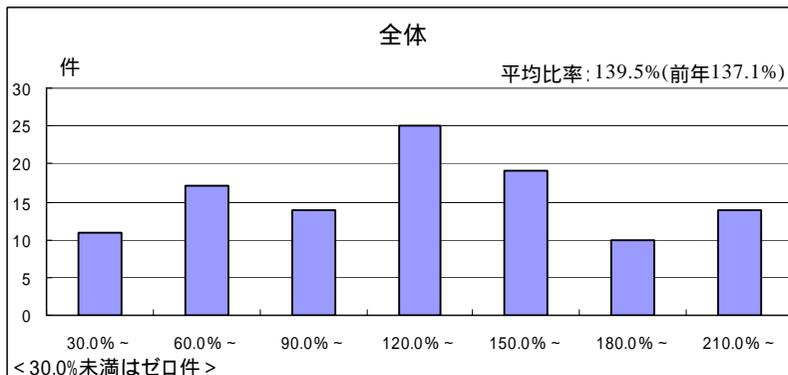
#### 受給者 / 加入者

基本部分の受給者(受給待期脱退者を含まない)数 / 基本部分の加入者数



#### 給付額 / 掛金額

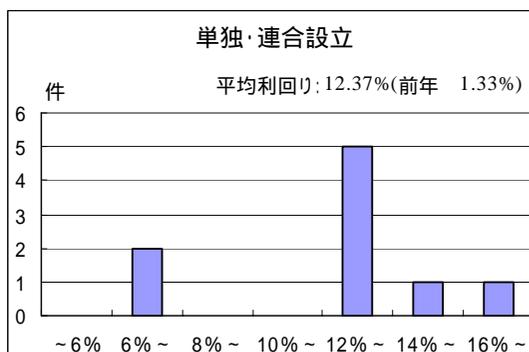
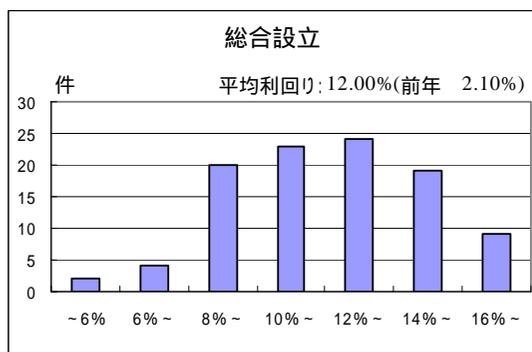
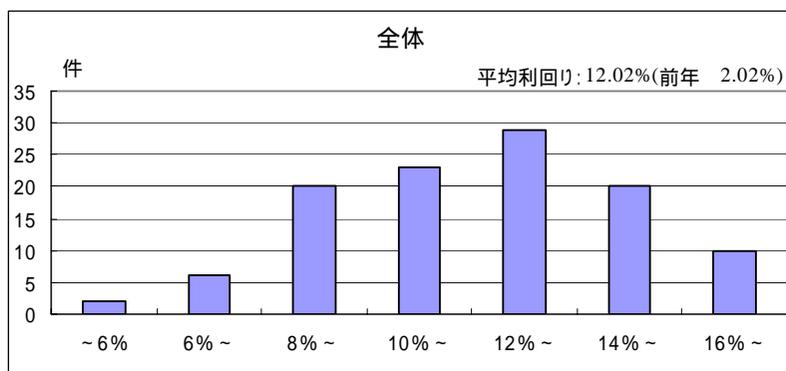
(給付費 + 移換金) / 掛金額 (掛金等収入のうち標準掛金額と特別掛金額)



## 4. その他の指標

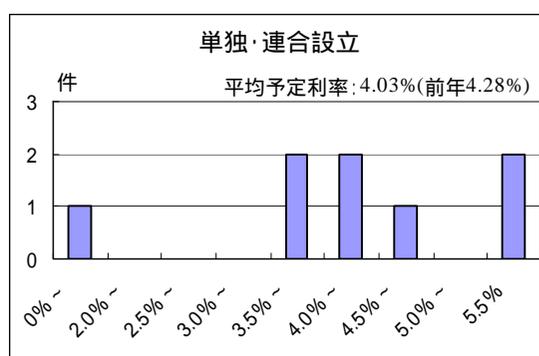
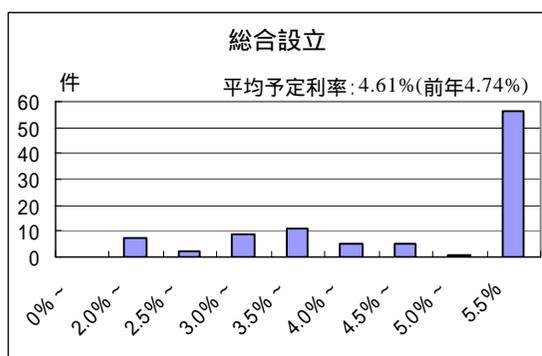
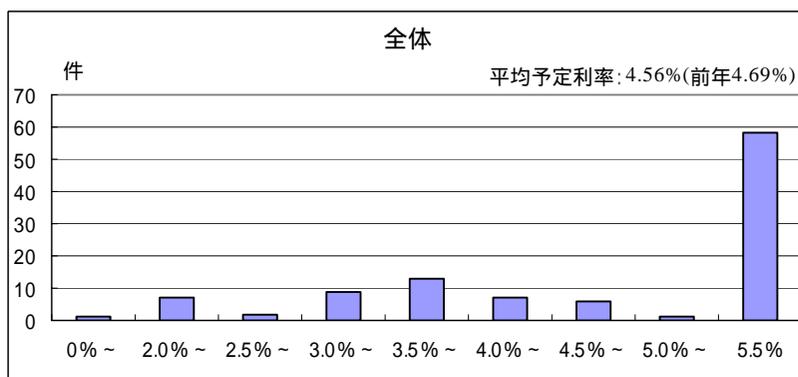
### 運用実績(時価ベース利回り)

110基金(総合型101基金、単独・連合型9基金)の集計



### 加算部分の予定利率(継続基準)

加算型基金104基金(総合型96基金、単独・連合型8基金)の集計



## 指定基金の状況

110基金(総合型101基金、単独・連合型9基金)の集計

総合設立		件数 (割合)	
指定基金以外の基金	指定されない	73 (72.3%)	1 (1.0%)
	指定される		
指定基金	指定が解除される	7 (6.9%)	20 (19.8%)
	指定が解除されない		

単独・連合設立		件数 (割合)	
指定基金以外の基金	指定されない	9 (100.0%)	0 (0.0%)
	指定される		
指定基金	指定が解除される	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	指定が解除されない		

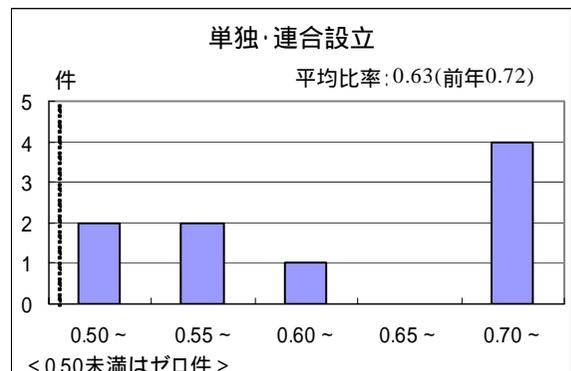
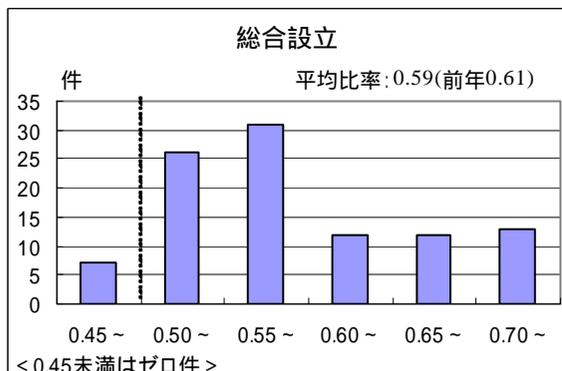
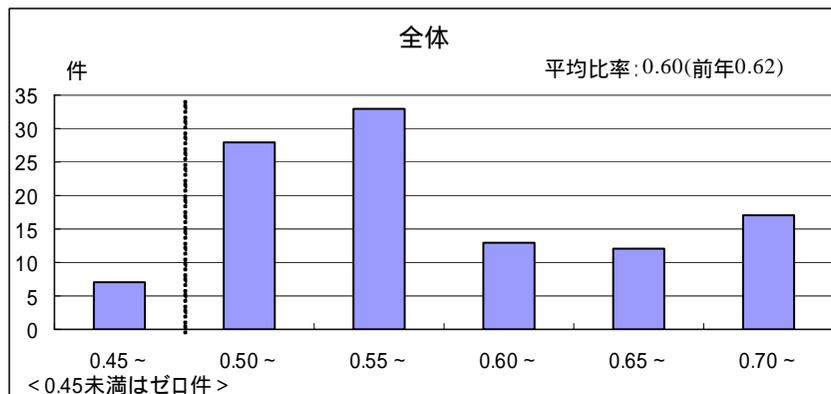
全体		件数 (割合)	
指定基金以外の基金	指定されない	82 (74.5%)	1 (0.9%)
	指定される		
指定基金	指定が解除される	7 (6.4%)	20 (18.2%)
	指定が解除されない		

平成22～24年度の3事業年度が全て「純資産額 < 最低責任準備金 × 0.9」の場合、または平成24年度において「純資産額 < 最低責任準備金 × 0.8」の場合に指定基金に指定されます。ただし、平成25年度より指定基金制度が廃止される見込みのため、平成24年度の指定も行われな見込みです。

## 最低責任準備金 / 過去期間代行給付現価

110基金(総合型101基金、単独・連合型9基金)の集計

最低責任準備金が過去期間代行給付現価の1/2を下回った場合、政府が負担金(給付現価負担金)を交付



	件数		(割合)
	時価評価	数理的評価	合計
総合設立	84 (83.2%)	17 (16.8%)	101 (100.0%)
単独・連合設立	8 (88.9%)	1 (11.1%)	9 (100.0%)
合計	92 (83.6%)	18 (16.4%)	110 (100.0%)

以上